

取り組み紹介書

施設	職場	氏名
聖隸浜松病院	(団体の場合は団体名 急変時の迅速対応部会 )	

【タイトル】院内救急対応システム (RRS) コール 24 時間体制の確立、小児患者における RRS コール体制の整備

**【課題】**

医師がすぐに対応できず、経過観察している間に急変する事例が発生していた。

**【目的】**

病院内の急変の発生を未然に防ぎ、コードブルーとなる前に適切な処置を行うため。

**【方法】**

当院では、全国に先駆けて 2013 年 1 月から RRS を導入。「急変時の迅速対応部会」では、毎月の RRS コール件数を把握し、各事例内容を確認、また適切に対応出来ていたかどうかを検証している。

- ・ 2018 年 6 月からは RRS コール番号を「1912」に統一し、時間外は当直看護課長が RRS コールに対応する事で 24 時間体制の仕組みを構築した。
- ・ 全職員にむけて「AKB 週間：10/28～11/1 開催」において RRS の仕組みを講義し院内へ教育活動を積極的に行なった。参加者は 2177 名と 90% 以上の職員へ教育啓蒙する事ができた。
- ・ 今年度は小児患者における RRS コール体制を確立し、実行に至った。

**【結果・効果】**

RRS コール件数は 2016 年度 : 32 件、2017 年度 : 43 件、2018 年度 : 76 件と経年的に増加した。24 時間体制とすることにより、特に夜間帯に勤務する看護師の負担軽減につながっている。

**【事業団内外の表彰実績（表彰されている場合）】**

- 
- 
- 

※人命救助などの場合は添付の必要はありません。